

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名 (岩瀬高齢者センター管理事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (020601000008), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名), 事業期間 (単年度繰返し), and 予算科目 (01, 03, 01, 12, 01, 00).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the facility and management tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for application counts and user numbers.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源) and personnel costs (正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計). Includes a total cost row (A+B).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, categorized by 11 需用費, 12 役務費, and 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years' business content. Includes a note about recording content and a list of main tasks (市長マニフェスト, 未来PJ事業, etc.) with a right-pointing arrow.

事務事業名	岩瀬高齢者センター管理事業	事務事業No.	20601000008	所属課	高齢福祉課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 高齢者の社会参加を促進し生きがいがづくりに資するとともに、地域住民の交流の場として生活の改善と文化の向上を図り、明るいまちづくりを推進するため桜川市岩瀬高齢者センターを昭和63年に設置した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 この施設は高齢者の交流の場を提供することを目的とした施設としているため、利用者(高齢者)からは利用料金について、今後も免除で利用させていただきたいとの意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	高齢者の交流の場を提供し、生きがいがづくりに寄与する施設であるため高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内に在住する高齢者のいきがいがづくりや交流等を目的とした施設であるため、市が施設を設置し維持管理することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	施設の設置目的に沿った、市内に在住する高齢者が対象であり、利用にあたっては申請に基づき許可しているため適切である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	障がい者の作業所や高齢者のカラオケ会の活動として利用され施設の利用率が高く、これ以上成果向上の余地はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	類似する施設がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	施設の維持管理に伴う光熱水費・設備の維持管理費等の必要最低限の経費であり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	施設の設置目的である65歳以上の高齢者に対する使用料の免除規定があり、またそれ以外の市民が利用する場合でも、利用者により減額及び減免規定があり公平・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①目的妥当性 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ②有効性 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ③効率性 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> ④公平性 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高齢者の交流の場として、また、生きがいがづくりの活動の場として役立っている。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 ⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------